

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150180042		
法人名	医療法人 長晴会		
事業所名	グループホームきりん		
所在地	佐賀市金立町大字薬師丸1274-1		
自己評価作成日	令和6年11月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和7年1月16日	外部評価確定日	令和7年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・木下医院の理学療法士が毎月入居者様のリハビリ評価を行い、生活リハビリへのアドバイスを行っている。 ・24時間対応で主治医、看護師と連携を図りながら入居者様の健康に留意している。 ・同法人内に老人保健施設や居宅介護支援事業所、通所サービス、訪問サービスなどがある為、重度化した時でも対応がスムーズに行える。また、在宅に帰られる時でも居宅、通所、訪問等と連携し必要なサービスの提供がすぐに行える。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人の経営する病院、歯科、老人保健施設から少し離れた場所の広い敷地に、リハビリテーション、居宅介護支援事業所の一角に創立25年のグループホームきりんがある。周囲は田園や住宅があるが、騒音はなく静かな環境の中で、自分らしくゆっくりと過ごされている。管理者は着任して8ヶ月、法人内のすべての施設で経験を積み経験豊富である。また職員も永年勤務の方が多く落ち着いた雰囲気の中で明るく、朗らかである。管理者は「怪我をさせない」「安全」と「職員の高齢化」にも気配りされている。全職員はインカムを身に付け緊急時にすぐに対応出来る等働き易くなっている。また今後福祉用具を使用するケア手法を検討している。男性職員が5名で心強く、外国人も3名勤務しホームに溶け込んでいる。玄関のプランターには外国人の職員が季節の花を植え、花壇には野菜作りをされている。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や休憩室の出入り口もドア等に掲示し日々確認出来るようにしている。	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や休憩室の出入り口もドア等に掲示し日々確認出来るようにしている。	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や休憩室の出入り口もドア等に掲示し日々確認出来るようにしている。	創立25年になるが理念の変更はない。利用者が自由に過ごし、その人らしい生活で精神的にも安定して健康に明るい生活が出来るように支援している。理念を唱和はしていないが目につく場所に掲示され、いつでも振り返られる様にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には出来るだけ参加し、法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方に定期的に来て頂き交流を図っているが、現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。	地域の行事には出来るだけ参加し、法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方に定期的に来て頂き交流を図っているが、現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。	地域の行事には出来るだけ参加し、法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方に定期的に来て頂き交流を図っているが、現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。	自治会に加入している。町内の情報は法人から伝えられている。現在もコロナ感染状況が不安定な為地域との交流は控えられているが、デイサービスに通う友人の面会がある等少しずつ再開されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人事業所の行事開催時に地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方を指導しているが現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。	法人事業所の行事開催時に地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方を指導しているが現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。	法人事業所の行事開催時に地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方を指導しているが現在はコロナウィルス感染対策の為控えている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成している。また、ミーティングでも報告しサービス向上に努めている。	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成している。また、ミーティングでも報告しサービス向上に努めている。	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成している。また、ミーティングでも報告しサービス向上に努めている。	2ヶ月に1回自治会長、民生委員、利用者と家族の参加で開催されている。事業所の現状や行事報告をし、民生委員から介護保険について、家族から感染についての意見などがあり、説明が行われ、出来る事から改善されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議へ参加している。	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議へ参加している。	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議へ参加している。	困りごとや相談事は事業所で話し合いをされるが、困難な場合は地域包括支援センターや法人に相談し解決されている。市や地域包括支援センターから研修の案内があり参加されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。	法人や事業所で身体拘束、虐待防止も含め研修が行われている。身体拘束の事例はない。言葉遣いにも注意している。フォローアップ研修はオンラインで行われ理解されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。 また、外部の虐待研修にも参加している。	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。 また、外部の虐待研修にも参加している。	法人内の勉強会に参加また身体拘束委員会からの情報を共有し防止に努めている。 Webでのフォローアップ研修でも勉強を行っている。 また、外部の虐待研修にも参加している。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内で毎年勉強会があり参加している。理解を深め日々活用出来るように努めている。	法人内で毎年勉強会があり参加している。理解を深め日々活用出来るように努めている。	法人内で毎年勉強会があり参加している。理解を深め日々活用出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得出来るように努めている。	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得出来るように努めている。	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得出来るように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議時に家族様からのご意見を聞いている。また、サービス担当者会議の時や面会時にも意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	運営推進会議時に家族様からのご意見を聞いている。また、サービス担当者会議の時や面会時にも意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	運営推進会議時に家族様からのご意見を聞いている。また、サービス担当者会議の時や面会時にも意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	担当者会議に家族の参加があり意見を聞く事が出来る。家族からリハビリをしてもらいたいと要望があり相談された。改善策として毎月協力医の理学療法士がリハビリされ評価とアドバイスを頂いている。コロナ禍が緩和され居室での面会が自由に出来るようになった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、問題が生じればその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署が集まり意見交換を行う会議を行っている。	月に1度、問題が生じればその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署が集まり意見交換を行う会議を行っている。	月に1度、問題が生じればその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署が集まり意見交換を行う会議を行っている。	法人内の異動がある。意見は出し易くミーティングで話し合い改善出来ている。男性職員5名で心強く、3人の外国人と共にコミュニケーションも良く溶け込んでいる。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け、自己評価を行った上で管理者が評価し給与に反映されている。	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け、自己評価を行った上で管理者が評価し給与に反映されている。	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け、自己評価を行った上で管理者が評価し給与に反映されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の勉強会や研修会に参加できるように配慮している。 外部研修の案内を誰でも確認出来るようファイリングしている。	法人内の勉強会や研修会に参加できるように配慮している。 外部研修の案内を誰でも確認出来るようファイリングしている。	法人内の勉強会や研修会に参加できるように配慮している。 外部研修の案内を誰でも確認出来るようファイリングしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議への参加がある。以前行われていた交流会は現在実施されていない。	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議への参加がある。以前行われていた交流会は現在実施されていない。	地域包括支援センター主催の勉強会やケア会議への参加がある。以前行われていた交流会は現在実施されていない。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり、医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安解消の要望に対応できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の状態、希望、家族様の希望で他の施設が良いと思われた場合は、各施設の特徴を説明し、選択出来るようにお話している。	本人様の状態、希望、家族様の希望で他の施設が良いと思われた場合は、各施設の特徴を説明し、選択出来るようにお話している。	本人様の状態、希望、家族様の希望で他の施設が良いと思われた場合は、各施設の特徴を説明し、選択出来るようにお話している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活歴やその方の人生歴を理解し、尊重する立場で言動に注意し関係づくりをしている。	生活歴やその方の人生歴を理解し、尊重する立場で言動に注意し関係づくりをしている。	生活歴やその方の人生歴を理解し、尊重する立場で言動に注意し関係づくりをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。面会に来られた時は必ずお声かけをし本人様のご様子をお話している。また、LINEで写真等を送ったりしている。	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。面会に来られた時は必ずお声かけをし本人様のご様子をお話している。また、LINEで写真等を送ったりしている。	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。面会に来られた時は必ずお声かけをし本人様のご様子をお話している。また、LINEで写真等を送ったりしている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	併設の老人保健施設や通所リハビリで馴染みのあった方、ご近所の方々等交流が持てるようにしている。	併設の老人保健施設や通所リハビリで馴染みのあった方、ご近所の方々等交流が持てるようにしている。	併設の老人保健施設や通所リハビリで馴染みのあった方、ご近所の方々等交流が持てるようにしている。	コロナ禍が落ち着き面会が多くなった。携帯電話持参の方もあり家族や友人からの電話を楽しみにされている。電話の取次も行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活の中でまた共同での活動の際、出来る所を各自行い、役割を持ち支え合う様に支援している。	生活の中でまた共同での活動の際、出来る所を各自行い、役割を持ち支え合う様に支援している。	生活の中でまた共同での活動の際、出来る所を各自行い、役割を持ち支え合う様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通り対応している。その後もフォロー出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通り対応している。その後もフォロー出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通り対応している。その後もフォロー出来るように支援している。		

自己 外部	項目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの作成時また見直しをする時にはその都度本人様の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている。	ケアプランの作成時また見直しをする時にはその都度本人様の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている。	ケアプランの作成時また見直しをする時にはその都度本人様の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている。	計画作成時、作品づくりやお風呂の時間に会話がある。音読、新聞や広告を見る方、ぬり絵等自由に本人がやりたいことを楽しんでいる。日頃見られない行動やつぶやきを観察し記録に残し介護計画に活かされている。利用者の作品は市の趣味の会に出品され、展示会場に見に行くなど利用者の励みになっている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題と ケアのあり方について、本人、家族、 必要な関係者と話し合い、それぞれの 意見やアイデアを反映し、現状に 即した介護計画を作成している	サービス担当者会議には主治医、薬剤師、介護士、家族は必ず参加し意見交換を行っている。それをケアプランに反映させている。	サービス担当者会議には主治医、薬剤師、介護士、家族は必ず参加し意見交換を行っている。それをケアプランに反映させている。	サービス担当者会議には主治医、薬剤師、介護士、家族は必ず参加し意見交換を行っている。それをケアプランに反映させている。	日々の申し送りノート、本人の気力、体力の変化を参考に介護計画を作成している。モニタリングは月1回であるが、状況変化の際にはその時点の現状に合った計画に見直し、家族にも報告されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。ヒヤリハットが出た場合はその都度ケアミーティングを行い、ケアプラン修正をしている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。ヒヤリハットが出た場合はその都度ケアミーティングを行い、ケアプラン修正をしている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握と評価につなげている。ヒヤリハットが出た場合はその都度ケアミーティングを行い、ケアプラン修正をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	食事は本人様の好き嫌いや食形態栄養補助食品に随時対応している。リハビリ専門スタッフのアドバイスもすぐに受けることが出来、柔軟で多機能な支援が提供出来ている。	食事は本人様の好き嫌いや食形態栄養補助食品に随時対応している。リハビリ専門スタッフのアドバイスもすぐに受けることが出来、柔軟で多機能な支援が提供出来ている。	食事は本人様の好き嫌いや食形態栄養補助食品に随時対応している。リハビリ専門スタッフのアドバイスもすぐに受けることが出来、柔軟で多機能な支援が提供出来ている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の傾聴ボランティア、民生委員や消防団、自治会長さんらの協力を得ている。	地域の傾聴ボランティア、民生委員や消防団、自治会長さんらの協力を得ている。	地域の傾聴ボランティア、民生委員や消防団、自治会長さんらの協力を得ている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は本人、家族様に決めて頂いている。他事業所の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	主治医は本人、家族様に決めて頂いている。他事業所の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	主治医は本人、家族様に決めて頂いている。他事業所の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	受診は家族、利用者の希望であるが、全員併設の病院となっている。往診は2週間に1回で、緊急時は法人の医師が24時間対応され家族、職員も安心で心強い。歯科は法人の歯科から訪問がある。他科は家族の協力であるが事業所で対応することもある。併設医療機関との連携により365日、24時間の連絡体制が確保出来ている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師が1名おり情報の共有化健康管理、医療連携を行っている。 また、木下医院からも定期的に看護師が訪問されている。	常勤の看護師が1名おり情報の共有化健康管理、医療連携を行っている。 また、木下医院からも定期的に看護師が訪問されている。	常勤の看護師が1名おり情報の共有化健康管理、医療連携を行っている。 また、木下医院からも定期的に看護師が訪問されている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にし情報提供書も渡している。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にし情報提供書も渡している。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にし情報提供書も渡している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時のサービス担当者会議の時主治医より説明を行っている。状態が悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時主治医より説明を行っている。状態が悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時主治医より説明を行っている。状態が悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時に重度化、終末期について説明を行い同意を得られている。終末期になると同法人内の老人保健施設に移動されることもあり、それまでに出来る範囲で寄り添っている。現管理者になってから看取りの事例はない。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成しており、それに沿って対応している	急変時のマニュアルを作成しており、それに沿って対応している	急変時のマニュアルを作成しており、それに沿って対応している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練も行っている。非常用の食料飲料水も備えている。BCPの作成も出来ている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練も行っている。非常用の食料飲料水も備えている。BCPの作成も出来ている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練も行っている。非常用の食料飲料水も備えている。BCPの作成も出来ている。	年2回消防署立ち合いのもと利用者の参加で夜間想定訓練が実施されている。今のところ住民の参加はない。訓練後には注意点、問題点について説明がある。防火設備について職員は理解されている。自家発電装置も設置され、地震対策として居室のタンスにも転倒防止策がされている。事業所は地域の避難場所となっており、備蓄も準備されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳を尊重する事を支援の基盤にしている。アセスメントでその方の生活歴や人生歴でよく知り理解してその方に合った接し方を心がけている。	利用者様の尊厳を尊重する事を支援の基盤にしている。アセスメントでその方の生活歴や人生歴でよく知り理解してその方に合った接し方を心がけている。	利用者様の尊厳を尊重する事を支援の基盤にしている。アセスメントでその方の生活歴や人生歴でよく知り理解してその方に合った接し方を心がけている。	接遇研修が法人と事業所で行われている。声掛けは大声や声のトーンに気を付けている。会話の際には利用者に合わせ、方言も上手く使い分けて理解しやすい会話となっている。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の能力に応じた声かけ説明を行い、気持ちを表出して下さるよう時間をかけて対応している。	本人様の能力に応じた声かけ説明を行い、気持ちを表出して下さるよう時間をかけて対応している。	本人様の能力に応じた声かけ説明を行い、気持ちを表出して下さるよう時間をかけて対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間は、本人様が希望されない場合は時間をずらすなどして対応している。色々な活動も好きなものを選択して頂いている。また集団での活動は無理強いないようにお誘いしている。	食事や入浴の時間は、本人様が希望されない場合は時間をずらすなどして対応している。色々な活動も好きなものを選択して頂いている。また集団での活動は無理強いないようにお誘いしている。	食事や入浴の時間は、本人様が希望されない場合は時間をずらすなどして対応している。色々な活動も好きなものを選択して頂いている。また集団での活動は無理強いないようにお誘いしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容の提供、爪切りや髭剃りのケアを行っている。洋服は本人様に選んで頂いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃りのケアを行っている。洋服は本人様に選んで頂いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃りのケアを行っている。洋服は本人様に選んで頂いている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お米とぎや食材のつぎ分け、食器洗いなど能力に応じて職員と一緒にしている。行事の時はおやつ作りを一緒にに行い楽しんでいる。	お米とぎや食材のつぎ分け、食器洗いなど能力に応じて職員と一緒にしている。行事の時はおやつ作りを一緒にに行い楽しんでいる。	お米とぎや食材のつぎ分け、食器洗いなど能力に応じて職員と一緒にしている。行事の時はおやつ作りを一緒にに行い楽しんでいる。	法人の管理栄養士が季節にあった献立を作成して調理され届けられ、ごはんのみホームで炊かれている。以前は利用者の出来る範囲で手伝ってもらっていたが、高齢化や感染予防の為、今はお盆拭き等のみ行われている。利用者に合わせ食べ易い形態にされ、美味しいと完食されている。朝食はパン食が多く、好きなジャムで食べられる。食事の時間はテレビを消し音楽が流されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。週2～3回歯科衛生士からの指導も受けている	毎食後口腔ケアを行っている。週2～3回歯科衛生士からの指導も受けている	毎食後口腔ケアを行っている。週2～3回歯科衛生士からの指導も受けている		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	自立されている方や合図を出される方等排泄パターンにより誘導している。ポータブルトイレ使用者はいない。居室にはトイレがあり夜間はトイレの近くまでベッドを移動し手摺り代わりにする等自立の工夫がされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分摂取量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事や水分摂取量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事や水分摂取量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本は3日に1回と決めているが希望や拒否があった場合や、その日の体調に応じて時間や日にちをずらして対応している。	基本は3日に1回と決めているが希望や拒否があった場合や、その日の体調に応じて時間や日にちをずらして対応している。	基本は3日に1回と決めているが希望や拒否があった場合や、その日の体調に応じて時間や日にちをずらして対応している。	各ユニットにお風呂は設置されているが、現在はワンユニットのみのものを使用している。体調、気分、希望に合わせて入浴される。会話も出来楽しい時間でもある。入浴出来ない時は足浴、清拭が行われる。浴室の改修が計画中である。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している	その方の体力や症状に応じて 臥床の時間を設けている。夜間眠れ な方へのフォローも、傾聴したりホッ トミルクを提供するなどして対応し ている。	その方の体力や症状に応じて 臥床の時間を設けている。夜間眠れ な方へのフォローも、傾聴したりホッ トミルクを提供するなどして対応し ている。	その方の体力や症状に応じて 臥床の時間を設けている。夜間眠れ な方へのフォローも、傾聴したりホッ トミルクを提供するなどして対応し ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている	内服マニュアルを作成して おりそれに沿って支援してい る。内服薬変更の時は申し 送り、状態観察と記録の徹 底に努めている。	内服マニュアルを作成して おりそれに沿って支援してい る。内服薬変更の時は申し 送り、状態観察と記録の徹 底に努めている。	内服マニュアルを作成して おりそれに沿って支援してい る。内服薬変更の時は申し 送り、状態観察と記録の徹 底に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている	ケアプランの作成時、アセス メントを行い、活動を選択し ている。仕事や趣味、得意、 不得意を考慮している。お 一人お一人に適した役割を 持って頂くようにしている。	ケアプランの作成時、アセス メントを行い、活動を選択し ている。仕事や趣味、得意、 不得意を考慮している。お 一人お一人に適した役割を 持って頂くようにしている。	ケアプランの作成時、アセス メントを行い、活動を選択し ている。仕事や趣味、得意、 不得意を考慮している。お 一人お一人に適した役割を 持って頂くようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けないよ うな場所でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している	本人や家族の希望による外 出を支援している。外出後 の感染対策はあるが、今は 制限なく外出が出来るよう になっている。	本人や家族の希望による外 出を支援している。外出後 の感染対策はあるが、今は 制限なく外出が出来るよう になっている。	本人や家族の希望による外 出を支援している。外出後 の感染対策はあるが、今は 制限なく外出が出来るよう になっている。	現在、外出の制限はないが、 外出内容によりしばらく居室で 過ごしてもらうなど、外出後の 感染対策をしている。天気 の良い日は敷地内を散歩して日 光浴、気分転換し季節を感じ てもらっている。敷地内には春 に桜が咲き花見を楽しませて いる。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている。	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている。	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持つことへの制限はしていない。管理が出来ない場合は職員が預かり対応している。	携帯電話を持つことへの制限はしていない。管理が出来ない場合は職員が預かり対応している。	携帯電話を持つことへの制限はしていない。管理が出来ない場合は職員が預かり対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごせるように照明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会を設け対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いを持たせている。	居心地よく過ごせるように照明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会を設け対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いを持たせている。	居心地よく過ごせるように照明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会を設け対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いを持たせている。	リビングは広く、明るい。3ユニット仕切りの扉はあるが日頃は解放され廊下は広く障害物もなく開放的である。歩行訓練の場にもなっている。掃除は職員でされている。食事の際はテレビを消し、音楽へ切り替えられる。新聞、広告、ぬり絵等自由に過ごされている。静かな環境の中でゆっくり過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間にソファを置き、気の合う方と楽しく過ごしてもらい、一人になってもテレビや音楽鑑賞が出来るようにしている。	広い空間にソファを置き、気の合う方と楽しく過ごしてもらい、一人になってもテレビや音楽鑑賞が出来るようにしている。	広い空間にソファを置き、気の合う方と楽しく過ごしてもらい、一人になってもテレビや音楽鑑賞が出来るようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除はもちろんの事、お部屋には使い慣れたものや寝具を持ってきて頂いている。お花や写真等も飾って頂いている。	掃除はもちろんの事、お部屋には使い慣れたものや寝具を持ってきて頂いている。お花や写真等も飾って頂いている。	掃除はもちろんの事、お部屋には使い慣れたものや寝具を持ってきて頂いている。お花や写真等も飾って頂いている。	居室は広く、掃除は職員がされ清潔で整理整頓が出来ている。居室にはトイレが付いているが臭いも感じられない。持ち込みは自由であるが多くはなく、自分なりの住みやすい居室となっている。テレビやラジオを楽しめる方もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はして頂き、能力を生かしてもら様支援している。出来るだけ自立出来るよう手すりや食器等工夫し環境整備を行っている。	出来る事はして頂き、能力を生かしてもら様支援している。出来るだけ自立出来るよう手すりや食器等工夫し環境整備を行っている。	出来る事はして頂き、能力を生かしてもら様支援している。出来るだけ自立出来るよう手すりや食器等工夫し環境整備を行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)						
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
項 目		取 り 組 み の 成 果				
		↓ 該当するものに○印をつけてください				
		ユニットA	ユニットB	ユニットC		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の	
					2. 利用者の2/3くらいの	
					3. 利用者の1/3くらいの	
					4. ほとんど掴んでいない	
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある	
					2. 数日に1回程度ある	
					3. たまにある	
					4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		↓ 該当するものに○印をつけてください			
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	○	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない